




深き森に住まう
ダークエルフ
彼の者たちは高い魔力を持ち
その優れた知性によって
高度な文化を築いた
病没した先代女王が
遺した一人娘
若き女王カミラの統治によって
森は平穏を保ち続けていた
女王カミラは隣国である
マルティス王国と
友好関係を結び
人間との交易によって
森に大きな発展を齎した
そんなある日、彼女の下に
耳を疑う情報が舞い込む――
ガタッ
ダークエルフ達が
捕まっただと!?
いったいどういう
ことなのだ!


交易に行った若いダークエルフたちが戻りません
クバル男爵が屋敷に連れ込んだとの目撃情報もあります
馬鹿な!?
クバル男爵は我が国と長年に渡って交易をしてきた同盟相手だぞ！
しかし状況的にもっとも怪しいのはクバル男爵です
ここは使者を立てて男爵を探るのが上策かと
同盟相手にそのような無礼な真似ができるか！
妾が男爵のもとに赴き真実を問いただす
この件については他言無用だよいな！
ははっ!!

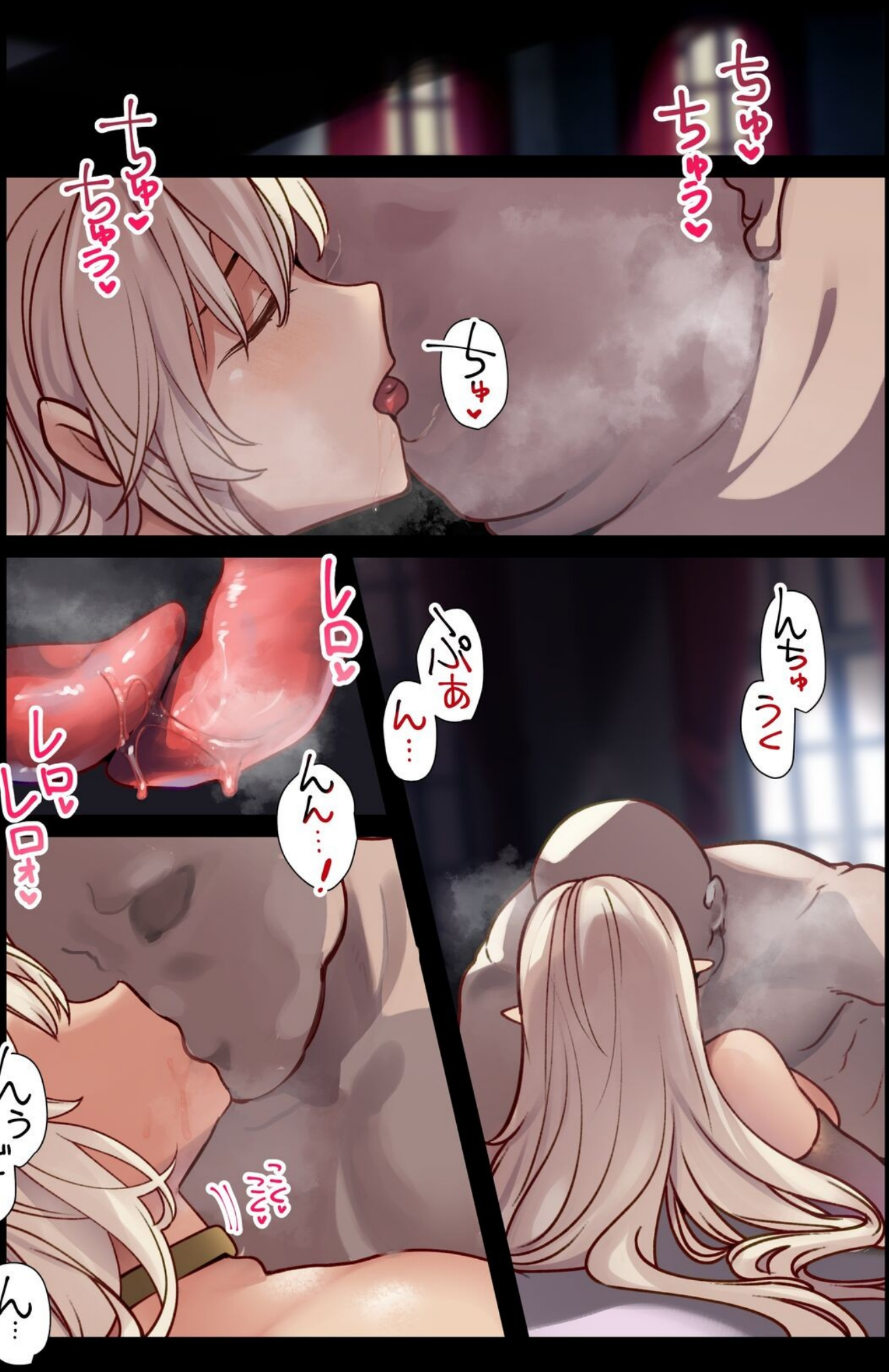

それで？
こんな時間に
女王自らが
出向いての
ご用件とは？
クバル男爵！
我が国の民が貴殿の領地で
行方不明となっている
この屋敷に連れ込まれたとの
証言もある
いったいどういうことなのか
説明していただきたい！
ククッ…
ハハハハッ
な…
何がおかしい!?


女王と言えど
箱入りお嬢様で
あることには変わりない
すい…
なにをっ
でなければ単身で屋敷に
出向くような愚行は冒すまい
儂がダークエルフを捕らえた
理由を教えてやろう
それは
お前だよ
カミラ
なっ!?
むにゅ
貴様ッ!
…くっ
そうだ
それで正解だ


駄目だ
今この男の機嫌を損ねては…
ぐいっ
同胞たちに危険が及ぶ…
こんな…
こんな事をするために
ヒロ…
我が同胞を捕らえたのか…ッ！
ギュ…
まさか
こんなものは前座に過ぎん
儂の本当の目的はこれだ
じゃら…
なんだそれは…？


これは隷属の首輪と
呼ばれる呪いのアイテムだ
首輪を付けた人間を
服従させることが出来る
ダークエルフどもを
助けたければ
この首輪を嵌めるがいい
それが人質の
解放条件だ
じり…
卑怯な…！
だが呪いのアイテムであれば
魔力が高いエルフの身体には
影響が薄いはず…
従うふりをして
後で解呪を試みればいい
…いいだろう
その条件を飲もう
くくく
懸命な判断だな
すも…


ガチャ
カミラ様！
助けに来てくれたのですね！
ああ
ちょっとした誤解があったようだ
クバル男爵が国に帰る手はずを整えてくれた
そなた達は安心して森に戻るといい
妾はこの機会にマルティス王国の視察をすることになった
一月ほど留守にするが何も心配いらないと家臣団に伝えてくれ
はい！
かしこまりました
森でカミラ様の帰りをお待ちしておりますね


ちゅ♡
ちゅう♡
ちゅ♡
ちゅう♡
ちゅ♡
んちゅ
うく
ぷあ
ん…
レロ♡
レロ♡
レロォ♡
んん…！
んぅぐ…
ん…


ふふっ
さすがはダークエルフの女王
甘露な味わいだったぞ
は♡
はぁ♡
ぐっ…
誤算だった
まさかこれほどまでに
強力な呪いだとは…
身体がまったく
言うことを聞かない…！
先程は見事な
演技だったぞ
あのダークエルフ共も
お前の言う事なら
信じるだろう
…っ！
これで一か月の
猶予ができた
その間に
お前を調教して
完全に儂のモノに
してくれるわ
貴様…！


反抗的な目だな
だが無駄だ
脱力して
儂に身体を預けよ
くた…
ぁあ…うぐ
はぁ…
ぎし…
!?
さて
今度は下の味を
確かめてさせて
もらうとするか
な
なにを…!?


ぐふふ…
!?
そんなところ…！
ぐぷっ
じゅぷっ
じゅぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐ


声を我慢するな
気持ちいい時は
しっかり喘げ
ドクン…
っ…!?
…えっ
びくっ
あ♡あ♡
うあ!?
じゅる♡
じゅぷ♡
じゅるる♡
ぢゅぷ
ぢゅぷ♡
ぢゅぷ♡
ぴゅ♡
ぢゅぷ♡
れろ♡
れろ♡
あああ♡
あああ!?


はぁ…あぁあ
じゅるる
ぷしゃあ
るるるる
いやあああぁあ
ビク
ビクッ
はぁっ
はぁ
ぷしゃ
ははは
今日はこれくらいにしてやろうか


それから毎日のように
カミラへのセクハラは続けられた
あぁ
はあ
あぁ
ビクン
ビクン
トク
呪いで身体を操られ
男爵が望むプレイを強要され続けた
いやぁ♥
んんっ!!
あ♥


首という人体の急所に
呪物を嵌めた効果は絶大で
カミラは解呪の
きっかけすら掴めなかった
ビクン
はっ
はっ
ふあ♥
あああ
びくっ♥
びくっ♥
あああ♥
すぷっ
すぷっ
ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
むしろ呪いが日に日に
身体に浸透していくのを感じていた


一週間後
ぜ…
全部入れたぞ
はっ♥はっ♥
ずぷっ♥
ぐぽっ♥
ぐぽっ♥
ククッ
ケツ穴の開拓も
しなくてはな
…ッ
ではそのまま
パイズリしろ
教えた手順通りにな
うぅ…
なぜ毎回
嗅がせるのだ


唾液をしっかりまぶして
満弁なくコーティング
レロ♡
レロ♡レロ♡
ぎゅうう♡
むちぃ…♡
おっぱいで
こすり合わせながら
亀頭を丁寧に
嘗め回す
どうだ
こいつをお前の
ケツ穴にぶち込めば
最高の快楽を味わえるぞ
ちゅ♡
ちゅぱ♡
こいつ…
そのために妾のお尻に
こんなものを入れたのか…！
うっ…
いかん
意識したら
お尻が…
きゅん♡
きゅん♡


二週間後
んラ♥
ビビ♥
お♥
んラぁ♥
はあ♥
ビビ
はあはあ
みち♥
みち♥
ちゅく♥


んっ…♥
ビクッ


くくっ
撫でただけで
腰を跳ねらせおって
よほどケツ穴に
入れてほしいと見えるな
みち…♥
やあ…！
待っ…
くぅう！


んぁっ!?
お♡
ドチュ♡
あぁ♡
ズチュ♡
ビチュ♡
あぁっ♡
ズプ♡
ズプ♡
ズプ♡
お♡
奥っ…
深い…無理っ
こんなのむりぃ…!
ズズ♡
ズプ♡
ズチュ♡
おほおぉ♡
お♡
ズプ♡
ズズポ♡
おしりで
イカされるッ


びくっ♡
びくっ♡
あぁ♡
ぶっ♡
ぶっ♡
おおおお♡
びくっ♡
ぶっ♡
あぁ♡
おっおっ♡


三週間後
さて
期日が
近づいてきている
女王が戻らねば
ダークエルフ共は
儂の屋敷に殺到するだろう
!?
ははっそうだ
まもなく同胞が
救出にくる！
妾の勝ちだ！
最後まで
貴様の辱めに
屈しなかった
妾の忍耐が
勝ったのだ！


これ以上時間を
掛けることはできなくなった
多少強引にでも
屈服させる必要がある
ふ…ふん
今更どのような
辱めを受けようと
妾は決して屈せぬわ！
ぐふふ
その威勢がいつまで
もつかな
な…なんだ
こやつの自信は…！
だが何が来ようと
妾は耐えぬくのみ
これを塗ってやろう
な…
なんだこれは…


どうだ？
こういうのも
なかなかいいだろう
ぷにゅ♥
にゅるん♥
ぷにゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥
何をバカな…ッ！
くにっ♥
ぴゅん♥
儂の腕のなかが
そんなに心地いいか？
な…!!
そんなこと
あるわけが…！
くちゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥


どれ
すこしだけ身体の自由を戻してやろう
う…
動けな…!?
ぬるぬるん♡
ぬるん♡
ど…
どうして…!?
もう十分効果が出てきたようだな
なにを…
妾に何をした…!
このヌルヌルは共心油という魔法の油だ
油を塗り身体を重ねた人間の精神を交わせる
妾の心が…
この男に…?
ダークエルフの国を差し出すにはクバル様との婚姻が必要
クバル様にこの身を捧げれば全てが解決する
逃げるなど言語道断
!?
違う
妾はそんなこと思っていない…!

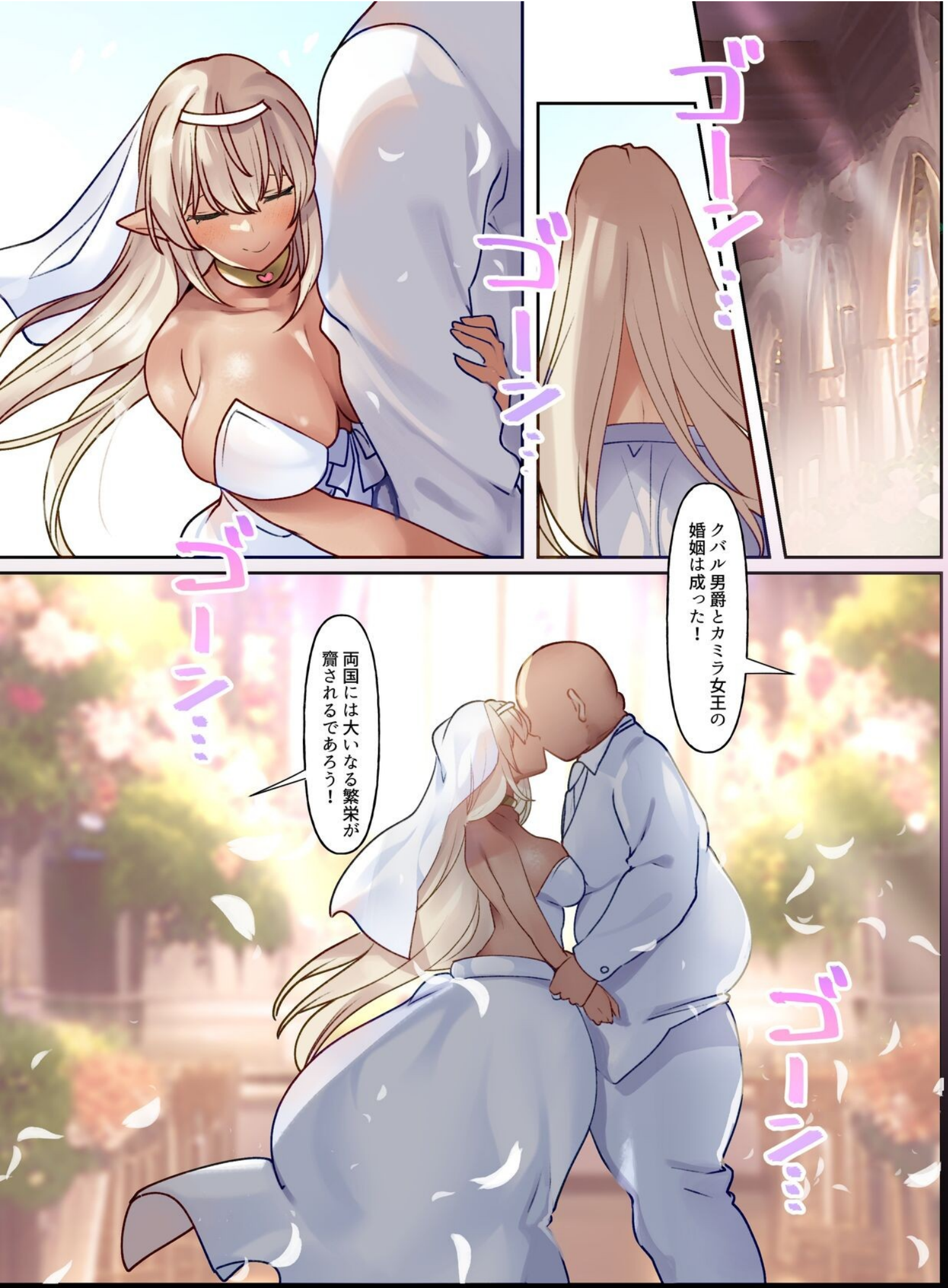

クバル様の欲望がどんどん流れてくる
ドクン
ドクン
ドクン
やめ…ろぉ…！妾の心を弄ぶなぁ…！
あああ!!
心が塗り替えられるの気持ちいい♡
クバル様とえっちなことがしたい
はぁはぁ
ク…クバル…クバル様ぁああ…！
クバル様ぁ…♥犯してくださぁぁぁいいい♥


ぬぷ…
あ
はぁ
あ♥
イク♥
あ♥
ボボボボ
パン♥パン♥パン♥
気持ちいいいいい♥
そうだ
もっと吸い付け
これから儂らは
夫婦になるのだからな
ちゅ
ちゃ♥ちゃう♥
んちゅ♥ちゅば♥
れろ
ぶー♥ぶー♥
ビク♥
旦那様
旦那様ぁ♥
バキュ♥バキュ♥


でかいおっぱいを晒しおって
ならもっとアクメしろ！
旦那様の為だけに育てたおっぱいですぅ
元気な男の子が孕めないぞ！
はひいいい！
がんばります♥
いっぱい子どもを産んで最強の帝国をつくりましょう♥
うぉっ
このマンコ急に儂を喜ばせおって


射精るっ
ドクッ
中に射精すぞ！
ビクッ
ビクン
はぁぁぁぁ
おくぉぉ
ドプ
ドプ


はぁっ
はぁっ…
これでいい
これでダークエルフの
国は儂のものだ
トプ♡
はー♡
ぴゅ♡
ぴゅ♡
ヒロ…♡
トプ…♡
はー♡
はー♡
旦那様の射精…っ
好きぃ…♥


ゴーン…
ゴーン…
ゴーン…
クバル男爵とカミラ女王の婚姻は成った！
両国には大いなる繁栄が齎されるであろう！
ゴーン…


ぬふふ…
恋人のように腰をふりおって
パン
パン
パン
ズン
ズン
ズン
あぁん…♥
それが妾の役割ですからぁ♥
すごいっ♥
ニチャ
ニチャ
エッチな汁が止まらない♥
カリがが膣内をこすりあげりゅうううう♡
コリ
コリ
儂の野望に貢献した褒美だ
今日は好きなだけ中だししてやるぞ！
あぁん♥
素敵です旦那様ぁ♥
あ♥♥


おっ♡
ひぃん♡
ぉおお♡
最高だカミラ
壊れるまで
可愛がってやるぞ
お前は儂のためだけに
生きるがいい
はっ
はっ♡







